



町勢要覧

人と自然が輝く
高原のまち

神石高原町

誰もが挑戦できるまちの更なる進化



ごあいさつ

8,500人の町民がいきいきと、元気に暮らす神石高原町は、典型的な中山間地域の町です。この町には、1000年の昔から変わらない風景と、自然のやさしさ、人の温もりがあります。

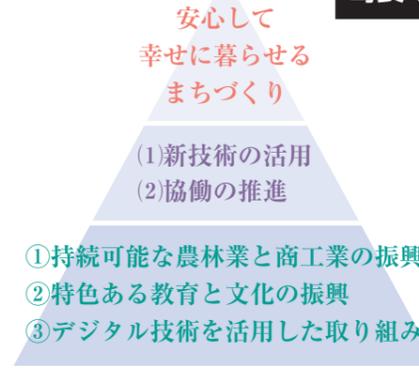
「神石高原町はこんな町。」

町民が、子どもたちが自信をもって地域を語ることができる、そんなまちをめざしていきます。

神石高原町長 入江 嘉則

町長の政策指針

安心して幸せに暮らせるまちづくり



(1) 新技術の活用

医療、交通、担い手不足など中山間地域の課題こそ、DXの概念をベースにAIなどの新技術を活用することで、日常の負担軽減や生活やすさの実現をめざします。

(2) 協働の推進

行政主導から脱却し、行政との役割分担、地域による自主自立の活動をあらためて推進することで、地域活性化をめざします。



町長の政策の柱

わがまちの現在地 ～現状と魅力・未来～

① 持続可能な農林業と商工業の振興

神石高原町では、神石高原農業公社を核とした農業組織の再編、農地の基盤整備等を行い、耕作放棄地の拡大を防止し、農業従事者の確保を目指しています。

また、神石高原商工会と連携し、歴史ある様々な業種の事業承継を支援することで、町内事業者や雇用の維持を図っています。



農林業・
商工業



町の産業は、どの分野においても高齢化が進み、担い手不足が深刻です。

一方で、企業等による新規参入や町と連携する財団法人の基金を活用した起業があります。

さらに、民間事業者との協定や賛同者による支援の輪が広がりつつあります。

令和3年度には、有識者らで農業に関する提案がまとめられ、遊休地の活用をはじめ、新たな在り方を示しています。

② 特色ある教育と文化の振興

(誰でも留学・本物体験支援プロジェクト)

世界を相手にできる人財づくりを目指し、中学校、高校での短期留学を実施しています。海外を経験したい、挑戦してみたいという思いを支援しています。

また、地元の油木高校と連携し、就職等に向けて本物を体験できる環境づくりに取り組んでいます。



教育・
文化



令和2年度の町の出生者数は30人で合併直後の平成17年と比較すると1/2にまで減っていますが、今も昔も子どもたちは地域の活力の源であり、財産です。

自然豊かな神石高原町で豊かな人間性を育み、巣立ち、いつかまた町へ帰ってきてもらうため、様々な支援を行っています。



■ 協定締結先の一例と内容

締結先	主たる内容
慶応義塾大学SFC研究所	地域資源を活用した地域活性化
楽天株式会社	ふるさと納税の推進、学校と連携したIT利活用促進
株式会社エプリーホームイホールディングス	農産物の流通、観光の振興
株式会社カスタム	企業立地・企業活動の拠点づくり、新しい発想によるものづくり

出産祝い金や小中学校入学時の祝い金のほか、子ども医療の対象年齢拡大(※18歳まで)や、奨学金返還を支援する制度を設けました。

年度別出生者数の推移(人)

H17	H28	H29	H30	R1 (H31)	R2
61	36	35	31	34	30

③ デジタル技術を活用した取り組み

高齢になっても健康的で自立した生活ができる「健康寿命」を延ばすことは誰もが切望しています。そのために様々な先進技術を活用して病気になる前の状態「未病(心身の状態等)」に着眼し、病気を防ぐことに取り組んでいます。すでに進めている予防医学(健康増進、検診制度の充実、リハビリなど)と複合的に取り組むことで高齢者の健康管理・維持に努めています。



デジタル



人口減少・少子高齢化時代の今、「スマート自治体」の取組が急務とされています。

また、地域課題や行政サービスの需要は今後も多様化し、増加することが見込まれるため、町がデジタル技術を積極的に導入し、サービスの効率化や時代の流れに即したサービスによる地域づくりを進めることが大切です。

町の未来に向けて必要と考えられる取り組みを計画的に実装するため、「神石高原町デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」並びに「神石高原町デジタル推進基本構想」を策定します。

そのための体制整備や行政サービスの効率化、役場のデジタル化の推進に向け、人材確保、自治体情報システムの標準化や行政手続きのオンライン化、AI・RPAの利用促進、ハンコレス・ペーパーレス化、キャッシュレス化などを進めて

いきます。

また、構想実現のために、生活環境の向上・地域活性化・安心安全な暮らしの更なる推進、持続可能な地域づくりを進め、通信環境の整備やデジタル端末の普及、伝統・歴史・文化の継承と発信、町の情報発信、産業のデジタル化、防災・災害への対応、健康増進と医療や介護、先端技術の導入と企業・団体との連携、オープンデータの推進とデータ活用などを進めます。

高齢化率の高い本町においては特に、「デジタルを感じさせないデジタル化」を目指します。



このまちの 魅力



樹齢300年とも言われる神宮寺跡のエドヒガン。凛とした立ち姿は気高く地域が愛でる1本桜です。



豊松富士とも称される米見山(よなみやま)の山頂にそびえる高さ約25mの塔。紙ヒコーキ専用につられたそのタワーから、どこまでも紙ヒコーキを飛ばそう！



全長約18キロメートルの峡谷、国定公園帝釈峡は、国の名勝に指定され、悠久の歴史の中で形作られた鍾乳洞や天然の奇橋、雄橋(おんばし)のほか、自然と調和する人工湖、神龍湖(しんりゅうこ)には神秘を感じることができます。



仁吾川上流の渓谷にひっそりと佇む3段滝。断崖を流れ、「魚切の滝」と呼ばれる勇壮な姿に思わず魅せられます。

このまちの イベント



車輪村



光信寺 セタ会



各地区秋祭り



秋

冬

子供新春神楽共演会



やまなみロックフェス

春



帝釈湖水開き

夏



井関・大矢納涼花火大会



このまちの 特産品



魅力が勢ぞろい道の駅産直市場



神石高原町では、独自の施策や取り組み、さらに、特徴的な自然、環境、人物などを統合した総合ブランド「JIN(神)プレミアム」を構築して、その情報を発信しています。



人口 8,453人 (R4.3.1 現在)
男:4,076人 女:4,377人

世帯数 3,846 世帯

面積 381.98km²

地勢 広島県の東部に位置し、北は庄原市、南は福山市、東は岡山県、西は府中市と接し標高は400~500m

町の立地とアクセス



町章



町花:ヒゴタイ



町木:ヤマボウシ

神石高原町民憲章

1. みんなで 人(じん) 生を楽しもう
1. みんなで 責(せき) 任を持とう
1. みんなで 行(こう) 動しよう
1. みんなで 元(げん) 気に暮らそう
1. みんなで 挑(ちょう) 戦しよう

【編集・発行】神石高原町役場 政策企画課 〒720-1522 広島県神石郡神石高原町小島1701番地
TEL.0847-89-3351 FAX.0847-85-3394 URL <http://www.jinsekigun.jp/>

令和4年3月 作成

